

ウェルビーイング研究科 ウェルビーイング専攻 [博士後期課程]

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>◆ウェルビーイング専攻 [後期博士課程]</p> <p>ウェルビーイング専攻 [博士後期課程] では、以下の要件をすべて満たし、所定の年限以上在学して所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、所定の博士論文提出資格を得た上で博士論文を提出して論文審査及び口述試験に合格した者に対し、「博士 (ウェルビーイング) 」の学位を授与する。</p> <p>1. <広い世界理解力> 世界の人類と動植物すべてのウェルビーイングを目指す視野の広さと優れた人格を持つとともに、これからの時代を先導する学問分野横断的なウェルビーイング学の基本と体系を深く理解していること。</p> <p>2. <新規性・独創性> 学問分野横断的なウェルビーイング学体系をさらに進展させるための自らの研究の新規性・独創性を明確に位置付けていること。</p> <p>3. <気概と行動力> これからの時代を先導するウェルビーイング学により世界を革新する気概と行動力を持つとともに、そのための研究を鋭意推進する高度な実行力を備えていること。</p> <p>4. <戦略的発信力> 全世界のウェルビーイング推進のために自らの研究成果を適切にまとめるとともに戦略的に発信する高度な力を有していること。</p>	<p>◆ウェルビーイング専攻 [後期博士課程]</p> <p>ウェルビーイング専攻 [博士後期課程] では、学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) を実現するため、以下に示す方針に基づいて教育課程を編成・実施する。</p> <p>ウェルビーイング専攻 [博士後期課程] の必修科目である「博士研究 1～3」はすべて、<広い世界理解力> <新規性・独創性> <気概と行動力> <戦略的発信力>を養うものであるが、それぞれ課程の初盤・中盤・終盤に当たるため、以下のように重点を置く部分が異なる。また、各人の博士研究に関連する修士課程科目を広く履修することを強く推奨しており、各人の研究テーマに応じて各科目を履修することにより<広い世界理解力> <新規性・独創性> <気概と行動力> <戦略的発信力>を養う。</p> <p>1. 「博士研究 1」では主に<広い世界理解力> <新規性・独創性>を養う。</p> <p>2. 「博士研究 2」では主に<新規性・独創性> <気概と行動力>を養う。</p> <p>3. 「博士研究 3」では主に<気概と行動力> <戦略的発信力>を養う。</p> <p>4. 各人の独自の研究に関連して修士課程科目を受講することによって各人の主体性に基づき<広い世界理解力> <新規性・独創性> <気概と行動力> <戦略的発信力>を養う。</p>